

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

（社）日本塗料工業会 室内環境対策の自主表示
ガイドライン「非トルエン・キシレン塗料」に適合

浸透性吸水防止剤

水性エクスセラ

高撥水性

高持続性



関西ペイント

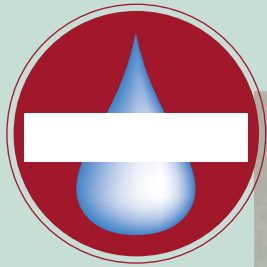
高撥水性は、今やあたりまえ。
コンクリートを長期に護る、

EX'CELA

水性エクセラ

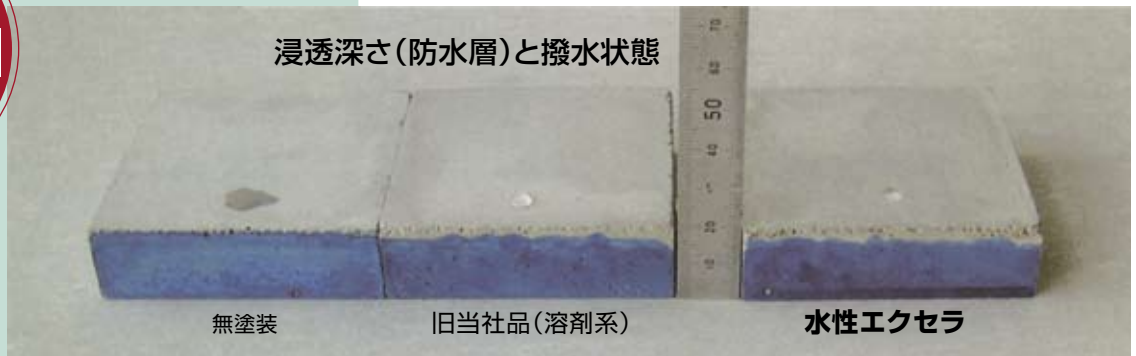
■特 長

1. 撥水性と持続性



優れた撥水性

素材に深く浸透することにより、外部からの浸水を防ぐ。

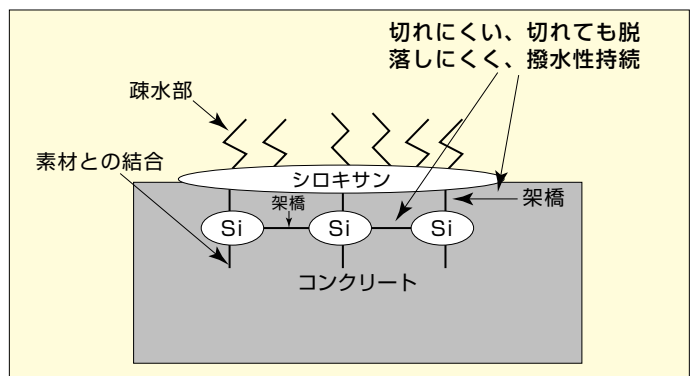


JIS A 6909試験体
モルタル(ISO砂)20×70×70

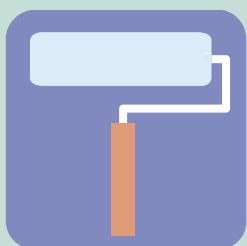
試験体上面に各材料を塗付後、切断し、切断面を水性カラーペーストにて着色。非染色部分が浸透深さ。

持続性(撥水機構)

シラン/シロキサンエマルジョン採用で超越した持続性を発揮。



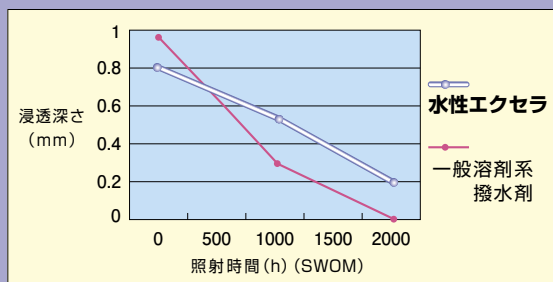
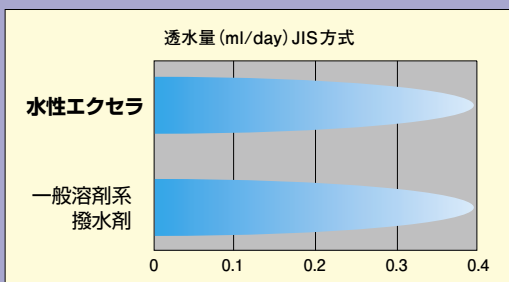
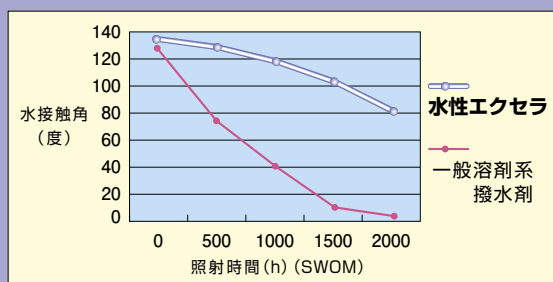
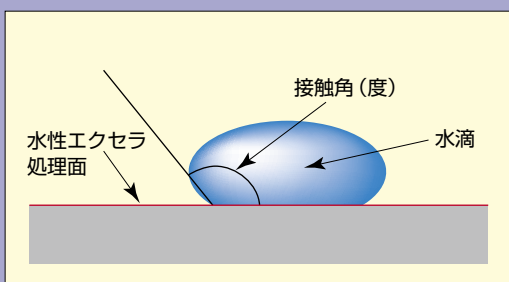
2. 省工程システム



■従来品は2～3回の塗付が必要とされておりましたが、「水性エクセラ」は、標準1回塗りです。
(1回塗りで、従来品以上の性能を発揮します。)

超越した持続力の水性撥水剤が開発されました。

基本性能試験結果



撥水性

無塗装と比較し、はるかに撥水性が持続します。この撥水効果により、躯体の劣化を抑制します。



水性エクセラ

浸透性吸水防止剤

■系 統

特殊アルコキシシランエマルジョン系撥水剤

コンクリートに浸透してシリコン層を形成し、構造物に防水効果を与え、コンクリート構造物の長期耐久性を図る水性系の撥水剤

■「製品コード」色相・容量

| | |
|-------|---------|
| 製品コード | 653-001 |
| 色 相 | 乳白色 |
| 容 量 | 15kg |

■塗装仕様

F★★★★仕様

| 工 程 | 塗料・処置 | 所要量 (Kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23℃) | 塗装方法 |
|--------------|--|-------------------------------|---------------|----------------|
| 素地調整 | エフロ・レイトンス・汚れなどをワイヤーブラシ等を用いて除去し、乾燥した清浄な面とする。(PH10 以下、水分 8%以下) | | | |
| 上塗り (1 回) | 水性エクセラ | 0.10~0.15 (0.14~0.18) | — | ローラー (スプレー) |

■塗装時の注意事項

水性エクセラを塗装する時に注意する事項は、下記のとおりです。条件を確認のうえ施工を行ってください。

- 1.コンクリートの含水率は、8%程度迄下がってから施工してください。
- 2.コンクリートのアルカリ度は、PH10以下を目安にしてください。
- 3.施工するまえに、被塗面に付着した、エフロ・レイトンス・汚れ・油分などを十分に除去し乾燥させてください。
- 4.相対湿度 90% 以上の場合は施工を中止してください。
- 5.気温が 5℃以下の場合は施工を中止してください。

- 6.塗料の粘度は低いので、上水などで薄めずに、ローラーで施工してください。(スプレーで塗装される場合は、周辺の養生を十分に行なってください。)
- 7.水性エクセラの付着した面に他の塗料を塗装した場合、はじきを生じるのでご注意ください。
- 8.塗り重ねる場合は、追っかけ塗装も可能です。(乾燥前の塗装濡れ色中に)
- 9.ある程度吸い込みのある素材に適用すると効果があります。
- 10.塗装を行なう時、他へ飛散する恐れがあるため、周囲および塗装してはならないところを十分注意して完全に養生してください。

■注意事項

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照下さい。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますので諒承ください。

ご用命は